

道徳科（人権）学習指導案

1 主 題 よりよくつながる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

インターネット上における様々な人権問題について学習することを通して、互いの人権を尊重した行動をしていこうとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画

『私のせいじゃない』（新しい道徳）
（道徳科）1時間
・「私のせいじゃない」に描かれている、泣いている子の立場に立っていじめの問題について考え、誰に対しても公正に接し、差別や偏見のない社会をつくらうとする心情を養う。

『人権教育講演会』（高田朋枝さん）
（あすチャレスクール2019）
（総合的な学習の時間）2時間
・パラリンピック日本代表として挑戦し続ける生き方を学ぶ。
・障がい者問題に対する関心をもたせるとともに、自分の生き方や考え方を見つめ直させる。

『あの子のランドセル』（新しい道徳）
（道徳科）1時間
・過去の自分の行動に心を痛める主人公の気持ちを考え、自分の良心にしたがって行動することの大切さに気付き、自ら責任をもって行動しようとする態度を養う。

『人権意見発表会』
（学級活動）3時間
・人権作文を書くことにより、自分の生き方を見つめ、どのように行動していくべきかを考えさせる。

『どんなことでも相談し合える仲間』
（新しい道徳）（道徳科）1時間
・クラスの人を理解する活動を通じて、様々なものの見方や考え方を身に付けることの大切さを理解し、自らの良心に従って誠実に生きていこうとする心情を育てる。

『命の授業・赤ちゃんふれあい体験』
（総合的な学習の時間）3時間
・命は奇跡の連続で誕生することを学び、命を大切にする態度を育てる。
・赤ちゃんふれあい体験から、多くの人の愛情で今日の自分がいることを理解させ、他者との関わりの中で互いに高め合う心情を育てる。

『ゴール』（新しい道徳）（道徳科）1時間
・真の友情を築こうとする主人公たちの姿を通して、ともに励まし合い、高め合って友情を深めようとする心情を育てる。

『携帯電話安全教室』
『消費者教育講話』
（総合的な学習の時間）2時間
・インターネットの利便性と危険性を理解するとともに、個人情報に配慮したインターネットの正しい利用について考える態度を育てる。

『チェーンワールド』（NHKオトナヘノベル『SNSトラブル連鎖』より一部抜粋）（道徳科）1時間
・SNSを使ったやりとりでの人権侵害について考え、相手の立場を尊重する心情を育てる。

『インターネットと人権』（わたしの願い）
（道徳科）3時間（本時3/3）
・インターネットによる様々な人権侵害について、自分の問題として捉え、自ら問題を解決しようとする態度を育てる。

5 本時の学習

(1) 目標

インターネット上における様々な人権侵害についての学習を通して、利用する人の差別意識や差別に対する無関心な態度に気づき、一人一人が差別をなくすために行動しようとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	C - (11) 公正, 公平, 社会正義
-------------	-----------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 個人人権課題名

人権の尊重
インターネットによる人権侵害

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時までの学習を振り返る。	○インターネット上の人権侵害で、憤りを感じた無関心な態度について考えたことを発表させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> インターネット上の人権侵害を防ぐために、自分にできることを考えよう。 </div>	
2 インターネット上の人権侵害について考える。	○人権侵害を防ぐために、何が必要で、自分には何ができるか具体的に考えさせる。 ①
3 班で意見を共有し、発表する。	○班員の意見を聞いて、ホワイトボードに人権尊重につながるキーワードを記入し、発表させる。②
4 自分たちの生活を振り返り、この学習を通して、これからの生活でどのように行動していくべきかを考える。	○生活の中にある、様々な問題点に気付かせ、自ら相手の人権を尊重し行動しようとする意欲を高める。 ①②

(4) 評価

- ・自分の言動に責任をもち、相手の人権を尊重した行動をしようとする意欲が高まったか。
【価値的・態度的側面】①
- ・友達の意見を聞いて考えを深めたり、自分の意見を伝えたりすることができたか。
【技能的側面】②